

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は、校訓を「元気に、本気で、根気よく」と定め、学校教育目標を「人権尊重の教育を基盤とし、『確かな学力』と『豊かな人間性』を持った子どもを育てる」と設定し、これまで教職員、保護者、地域住民と共に連携し、一人一人の児童の実態に柔軟に対応しながら、丁寧な教育活動を邁進してきた。その成果もあり、本校の児童は人懐っこく明るいである。

2 年以上に及ぶコロナ下の影響も大きく、精神的な閉塞感、不登校や学習意欲などの課題も出ている。児童が安心できる学校づくりを最優先に、これまで以上に児童に寄り添った指導、支援にあたるよう心がけていきたい。

不登校が課題となる今、まず必要なことは、児童が安心して登校できる環境づくりである。楽しく学校に通えることができているか常に意識して学校づくりを進める。学力・体力の向上に関しては、意欲を高める工夫、ICTの活用を進め、結果として全国を上回る点数をめざす。働き方改革についても、ICT等有効活用して進めていく。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率を、令和 3 年度より 4 ポイント増加させる。

○令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 3 年度より 2 ポイント向上させる。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○令和 7 年度末の行内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

**【安全・安心な教育の推進】**

**全市共通目標（小・中学校）**

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

**学校園の年度目標**

○令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を80%以上にする。

### 学校園の年度目標

- 令和4年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率を、令和3年度より1ポイント増加させる。
- 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和3年度より向上させる。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 全市共通目標（小・中学校）

- ・学習者用端末を活用した学習を週3回以上実施する。
- ・ゆとりの日を週1回設定・実施し、その日は遅くとも午後6時までには退勤する。

### 学校園の年度目標

- 週に1時間以上の読書習慣の定着をめざす。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90 % 以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85 % 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【1 安全・安心な学校、教育環境の実現】</b></p> <p>●「防災」「減災」教育に取り組む。 (安全教育の推進) (防災・減災教育の推進)</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災に関わる授業を年間 1 回以上実施する。</li> <li>・S K I P 研修も含めた研修を年間 2 回以上実施する。</li> <li>・防災マニュアル（警備及び防災の計画）の活用日を学期 1 回設ける。</li> </ul>	
<p><b>取組内容②【2 豊かな心の育成】</b></p> <p>●一人ひとりの違いを認め合う集団を作る。</p> <p style="text-align: right;">( )</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい、国際、性自認などを取り扱った授業を各学年で年間 1 回以上実施する。</li> <li>・いじめアンケートにおいて「いじめたことがある」「いじめられたことがある」と回答した児童について、その後の指導で 100 % 解消させる。</li> </ul>	
<p><b>取組内容③【2 豊かな心の育成】</b></p> <p>●児童の良いところや達成できたところを見つけて認め、自己有用感を高める。</p> <p style="text-align: right;">( )</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセス調査にかかる研修会を年 1 回以上開催し、調査結果を有効活用する。</li> <li>・児童理解研修会を年 2 回以上実施する。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40 %以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65 %以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 80 %以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率を、令和 3 年度より 1 ポイント増加させる。</li> <li>○令和 4 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 3 年度より向上させる。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容④【4 豊かな学力の育成】</b></p> <p>●学力向上に向けて授業力向上に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（「主体的・対話的で深い学び」の推進）</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に関わる研修会を年間 5 回以上実施する。</li> <li>・3 つの学年を意識した授業の割合を 80 %以上にする。</li> <li>・教員アンケート（新設）において、授業力向上を実感した割合を 80 %以上にする。</li> </ul> <p><b>取組内容⑤【4 豊かな学力の育成】</b></p> <p>●子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5 年生を対象にした漢字能力検定で合格率を 80 %以上にする。（淀川区学力向上支援事業「漢字名人育成計画」）</li> <li>・国語科か算数科において、習熟度別少人数学習の割合を 80 %以上にする。</li> </ul>	

取組内容⑥【5 健やかな体の育成】

- 児童の体力・運動能力の向上に向けて、運動・スポーツに楽しく参加できる学校行事、各種取組を実施し、運動やスポーツに親しむ機会を増やす。

(子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実)

指標

- ・運動会以外に体育的行事を年間1回以上実施する。
- ・校内アンケートの「運動をすることが好きである」の項目の児童の肯定的回答率を80%以上にする。
- ・体の動きを高める運動を体育の授業等で取り入れ、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である**長座体前屈の平均記録を全国平均の-1cm以上を目指す**

取組内容⑦【5 健やかな体の育成】

- 児童の発達段階に応じた健康に関する指導を推進し、日常より基本的生活習慣について徹底するように取り組む。

(健康に関する現代的課題への対応)

指標

- ・生活チェックカードを年間3回することで基本的生活習慣の定着をはかり、生活アンケートの「ゲームやスマートフォンを使う時間について」の項目で、「使う時間が決まっている」と回答する児童の割合を**前年度よりも高くする**。
- ・学校保健委員会において、児童の早寝早起きの意識を高める。

取り組み内容⑧【5 健やかな体の育成】

- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を児童の発達段階に応じて身につけるように取り組む。

(食に関する指導の充実)

指標

- ・年間10回以上食育に関する便りを通して望ましい食生活の意識を高める。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <p>○学習者用端末を活用した学習を週 3 回以上実施する。</p> <p>○ゆとりの日を週 1 回設定・実施し、その日は遅くとも午後 6 時までには退勤する。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○週に 1 時間以上の読書習慣の定着をめざす。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容⑨【6 教育 D X】</b></p> <p>●一人一台端末を効果的に授業で活用する。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員全員が、校内外で開催される I C T を活用した授業実践にかかる研修会、実践発表会に年間 1 回以上受講する。</li> <li>低学年 20 回以上、中学年 30 回以上、高学年 40 回以上学習者用端末を活用した授業、教材研究を実施する。</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑩【8 生涯学習の支援】</b></p> <p>●読書環境の充実を図り、読書習慣の定着を図る。</p> <p>●読書タイム、読み聞かせ活動の充実を図る。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書室や教室の読書環境を年間 2 回（夏季・冬季休業期間）見直す機会を設ける。</li> <li>個人の読書量（読書手帳を活用）を 1 ~ 4 年生は <u>60 冊</u> 以上、5 ~ 6 年生は 45 冊以上をめざす。</li> <li>個人の本の貸し出し冊数を 1 ~ 4 年生は 40 冊以上、5 ~ 6 年生は 30 冊以上をめざす。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	